

# 第 28 回表面技術セミナー — 森 誠之教授退職記念講演会 —

**主催：**岩手表面技術懇話会

**共催：**表面技術協会東北支部・化学工学会東北支部・日本表面科学会東北・北海道支部・日本化学会・いわて産業振興センター・岩手県材料応用研究会・一関工業高等専門学校・岩手大学工学部（予定）

**協賛：**応用物理学会東北支部・腐食防食協会東北支部・電子情報通信学会東北支部（予定）

**日時：**平成 25 年 3 月 15 日（金） 9:55～12:00（予定）

**場所：**岩手大学工学部銀河ホール（〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5）

**セミナー参加費：**無料

**定員：**約 300 名

**講演・講師（タイムテーブル）：**

時間	題目	内 容	講 師
9:55		開 会 挨 拶	
10:00   10:30	最近の環境対応型 化成処理について	近年、表面処理の一翼を担う化成処理においても環境調和が重要となっている。最近開発された①電解りん酸塩処理、②塑性加工用塗布型潤滑処理、③ノンクロメート処理、④ナノ金属酸化膜処理に関して概説する。	日本パーカラライジング 総合技術研究所 吉田 昌之 氏
10:30   11:00	新規潤滑剤の トライボロジー特性	近年、省エネ・省燃費で環境に優しい潤滑油剤が求められ、摩擦抵抗の軽減、摩擦を減らす油剤の開発には、摩擦表面を如何に制御するかが重要である。本講演では、新規潤滑剤であるアミド系ゲル状潤滑剤および天然系摩耗防止剤のトライボロジー特性を紹介する。	JX 日鉱日石エネルギー 中央技術研究所 設楽 裕治 氏
11:00   11:30	農薬製剤と 界面活性剤について	作物を保護する農薬には、直接散布する製剤と、希釈して散布する製剤がある。各製剤とも活性成分を病虫害、雑草に送達させるのに、界面活性剤の役割は大きい。農薬製剤の種類と界面活性剤の役割について解説する。	クミアイ化学工業 生産資材部 大川 哲生 氏
11:30   12:00	進化し続ける X 線光電子分光法(XPS)	XPS は、最も一般化した表面分析手法である。放射光施設では通常の装置では得られない微小領域、角度分解、雰囲気下や HAXPES も一般化し、実験室でも利用されるようになってきた。ハードウェアの視点からこれらの技術を紹介する。	オミクロン ナノテクノロジージャパン 大岩 烈 氏
12:00		閉 会 挨 拶	

**交流会：**15:00～（予定）

**参加申込方法：**「セミナー参加申し込み」および「交流会参加申し込み」に関して明記、氏名、所属、住所、電話番号も忘れずに e-mail でお申し込みください。

**申込先：**岩手大学工学部応用化学・生命工学科 七尾英孝 e-mail : nanao@iwate-u.ac.jp